

静かな祈り・五月ウマチー

旧暦五月十五日は豊作を祈願する稲の初穂儀礼・五月ウマチーの日です。「琉球国由来記」（一七一三年）には、「稲穂祭」とあり、古くは麦

稲四祭の中で最も重要な行事であったようです。町内の幸地・棚原では「穂花御祭」といい、各ムラではノロが中心となって祭祀が行われていました。現在では、稲作が行われていないことと、各ムラとも神人が不在なため、昔ほど盛んではありませんが、区

長やムラの有志の人達によって執り行われています。また、各門中ごとのウマチーもよく見られます。

今年の五月ウマチーは六月十二日にあたっており、幸地では幸地ノロ殿内（ノロ不在）の与那嶺次郎さんと、与那嶺幸盛さんがムラのウマチー祈願を行いました。祭祀場は、幸地ノロの管轄である幸地・

翁長の両ムラの拝所や門中のムートゥヤーをまわり、豊作・子孫繁栄を祈りました。

与那嶺さんの話

しによると、ウマチーの日には耕作をしてはいけない、三線を弾いてはいけななどの禁忌があったようです。そして、ノロが健在であった頃には、白い馬に乗って各祭



△幸地按司門中のムートゥヤーにて

祀場をまわったとのこと。

“白馬に乗ったノロの行列が、厳粛にムラの中を練り歩く。稲の実が黄金色に色づくまで、風は静かに、雨は適度に、どうかどうか豊作でありますように。” そんな静かな祈りが今なお続いているなんて：

皆さんも機会があったら、ムラの祭りをのぞいてみてはいかがでしょうかでしょうか？旧六月十五日（七月十二日）には作物の収穫を感謝する六月ウマチーも行われます。ウンサク（神酒）をいただけるかも知れせんよ。



△幸地の殿で手を合わせる